

2) キャンペーン「メルマガ会員 サラダ購入で 100 P プレゼント」

ローソンIDメール会員限定 サラダを買ってPontaポイントプレゼントキャンペーン

期間限定 2015年11月20日(金)～11月30日(月)まで

キャンペーン概要

ローソンでは日本型食生活として、ごはんを中心として、主菜・副菜を組み合わせるバランスのいい食事を促進しています。今回は、ローソンIDメールにてご案内メールを受け取った方を対象に、副菜であるサラダ類の対象商品を購入すると、Pontaポイント100Pをボーナスポイントとしてプレゼントするキャンペーンを実施致します。いつもの食事に野菜をプラスすることからはじめましょう！

キャンペーン期間

キャンペーンの訴求内容

3) キャンペーンメルマガ例 (11 月配信分)

検証: [ローソン]サラダ・カット野菜ご購入でPontaポイント100Pプレゼント! / 【予告】11月22日の「いい夫婦の日ロールケーキ」! - メルマガ

2015/11/19 (木) 16:11
ローソン ID メール <lawson_id@mail.lawson.jp>
検証: [ローソン]サラダ・カット野菜ご購入でPontaポイント100Pプレゼント! / 【予告】11月22日の「いい夫婦の日ロールケーキ」!

宛先: 山口 日奈子 デジタルプラットフォーム課

【2015.11.20】

ごはんを中心とした「日本型食生活」のススメ!

毎日、同じものばかり食べていませんか?
ごはんを中心に、魚、肉、豆類などの主菜、野菜、海藻、などの副菜を組み合わせた、栄養バランスに優れた食生活を「日本型食生活」といいます。
詳しくはコチラ! <http://l.mail.lawson.jp/rts/go2.aspx?l=56144&pe=i-H43-1s-14p-1PxFi3-21-lhh-3E-1PxFi3-1F81Fw>
(PC・スマートフォンのみ)

コンビニを賢く使って、バランスの良い食事をとうろう!
<http://l.mail.lawson.jp/rts/go2.aspx?l=56145&pe=i-H43-1s-14p-1PxFi3-21-lhh-3E-1PxFi3-1F81Fw>
(PC・スマートフォンのみ)

【今週の注目情報】

★「日本型食生活」応援キャンペーン!
Pontaカードを提示し、11月20日(金)～11月30日(月)にサラダ・カット野菜を購入すると、もちろん Ponta ポイント 100P をプレゼント!
<http://l.mail.lawson.jp/rts/go2.aspx?l=56146&pe=i-H43-1s-14p-1PxFi3-21-lhh-3E-1PxFi3-1F81Fw>
(PC・スマートフォンのみ)

★【予告: 11月21日、22日限定】11月22日(いい夫婦の日)の特別な「プレミアムロールケーキ」!

メルマガ配信例

(4) 店頭告知報告

サラダ等の野菜かい合わせ促進

1) 食卓クーポンを活用した告知

ごはんを使用した商品紹介とし、「日本型食生活のススメ」マークを刷り込んだ。350万部発行。※6月23日(火)～29日(月)実施



食卓クーポン例

2) 店内放送を活用した告知

食卓クーポン展開期間中、日本型食生活をテーマにしたローソンの商品紹介を店内放送（40 秒 CM）で放送。

下記期間中に1日8回放送。

11月3日(火)～11月9日(月) 7日間
11月24日(火)～11月30日(月) 7日間
12月22日(火)～12月28日(月) 7日間

媒体特徴

店内放送概要
R: 20秒or40秒
放送回数: 各時間帯4～10回/日

■原稿仕様
オーディオ CD / MD
mp3もしくはwav形式のオーディオデータ
・ステレオ/モノラル/モノラル
・サンプリング周波数=>44.1kHz
・ビットレート=>64～256kbps

1-エリア別にオンエアが可能です

料金/特種別

コンテンツ	原(秒)	放送回数/日	放送期間/日	金額
全店特				
昼中(11-13時)	20/40	4	7	140,000/180,000
昼(13-18時)	20/40	4	7	230,000/290,000
夜(18-24時)	20/40	4	7	180,000/230,000
全日(11-24時)	20/40	4	7	210,000/270,000
エリア別				
昼中(11-13時)	20/40	4	7	140,000/180,000
昼(13-18時)	20/40	4	7	230,000/290,000
夜(18-24時)	20/40	4	7	180,000/230,000
全日(11-24時)	20/40	4	7	210,000/270,000

放送時間帯

2- 五つの時間帯から選べます

店内放送概要

第3章 アンケート結果

本事業の参加者に対し、実施計画書に立てた効果測定を下記のとおり行い、その結果は次のとおり。

(1) イベント参加者対象

1) 属性

全体の参加者に対し、女性が約7割を占め、本事業の対象とする者で構成されている。

■あなたの性別をお知らせください(○は1つ)

	N	%
1. 女	97	70.8%
2. 男	37	27.0%
未回答	3	2.2%
全体	137	100.0%

全体に対し、最も多い上位3位が～19歳ならびに30～34歳、35～39歳となっている

ため、ハッピーローソンを活用する年齢層であることから、この結果は想定される構成と思われる。

■あなたの年齢をお知らせください(○は1つ)

	N	%
1. ～19歳	22	16.1%
2. 20歳～24歳	14	10.2%
3. 25歳～29歳	13	9.5%
4. 30歳～34歳	22	16.1%
5. 35歳～39歳	21	15.3%
6. 40歳～44歳	11	8.0%
7. 45歳～49歳	11	8.0%
8. 50歳～54歳	9	6.6%
9. 55歳～59歳	4	2.9%
10. 60歳～	9	6.6%
未回答	1	0.7%
全体	137	100.0%

2) 設問

① 問1

本事業にて対象者に伝えたい項目を列挙し、「初めて知ったこと」を聞いてみたが、一般的に日常では聞きなれない言葉（施策等では当たり前の言葉）に対し、聞きなれていない（浸透していない）ことがわかる。本事業で初めて知らしめることができたことは成果であるが（「日本型食生活」の認知度が44.5%であるという）、これを日常、どのように意識し生活していくかは、課題である。

問1. 本日の「KIRIMIちゃん、食育イベント」(以下、本日のイベント)であなたが初めて知ったことを教えてください。(○は当てはまるもののいくつでも可)

	N	%
☐ 「日本型食生活」の言葉や内容について	61	44.5%
☐ 一汁三菜の言葉や内容について	34	24.8%
☐ 朝食を食べることについて	43	31.4%
☐ 食事バランスガイドについて	45	32.8%
☐ 野菜を食べることについて	33	24.1%
☐ 魚の栄養について	33	24.1%
☐ その他	12	8.8%

※参考:「その他」の内容
鮭は白身魚ですか？最近では、白身でも赤身でもないと言われてます。(ピンク身)
22時～2時までに食べると20倍。B-01。太った訳が分かりました。
手ばかり。ビタミンCは、みかん1個よりも苺6個の方が多。鮭は白身魚。22時以降に食事をすると脂肪蓄積率が20倍になること。分食のこと。
だいたい知っていた。
夜中の脂肪の吸収率と、ノンカロリー、カロリーゼロの実際の話。
炭水化物とタンパク質のゲーとバーの話
分食、B-01
KIRIMIちゃんのツイッターアカウントで知った。
食事の大切さを感じた。時間に余裕があり、工夫することが大事。
夜に食べると脂肪の蓄積が日中の20倍になること。それを防ぐ食べ方。
22:00～2:00の脂肪の摂取が20倍になってしまうこと
栄養管理士の方の手ばかりの話、良くわかり日々の食事に応用しやすいと思った。

また、その他の回答については、対象者の多くを女性が占めることからか、脂質に関すること（脂質の蓄積など）に興味関心があったように思われる。したがって、問1の設問をいかに興味関心がある事項に結びつけ提案するかが、普及および食生活改善の鍵となると思われる。

② 問2

「理解できた」「概ね理解できた」が全体の95%を占めているため、本取組の訴求方法は適格だったことが言える。

問2. あなたは、本日のイベントで日本型食生活を理解することができましたか。
(○は1つ)

	N	%
1. 理解できた	77	56.2%
2. 概ね理解できた	52	38.0%
3. あまりよくわからない	2	1.5%
4. 理解できなかった	0	0.0%
未回答	6	4.4%
全体	137	100.0%

③ 問3

「日本型食生活を実践しているか」については、今回の参加者については初めて知った割合が多いにもかかわらず、日頃、自然とそれに近い食生活を送っていることがわかる。本取組により、その食生活が「日本型食生活」と気づかせ、理解させたことは、成果として非常に大きいと思われる。

問3. あなたは直近1か月間に、「日本型食生活」を実践していますか。(○は1つ)

	N	%
1. ほとんど毎食で実践している	27	19.7%
2. 1日にどこかで実践している	56	40.9%
3. 2、3日のどこかで実践している	28	20.4%
4. 1週間のどこかで実践している	25	18.2%
未回答	1	0.7%
全体	137	100.0%

④ 問4

「日本型食生活」を実践したと思いますか」については、ほぼ全員が「実践しようと思う」もしくは「できるだけ実践しようと思う」と回答している。したがって、本取組に参加することによって、このように意識を変えられたことは、成果として非常に大きいと思われる。

問4. 明日から、「日本型食生活」を実践したいと思いますか？(○は1つ)

	N	%
1. 実践しようと思う	68	49.6%
2. できるだけ実践しようと思う	68	49.6%
3. あまり実践したいとは思わない	0	0.0%
4. 実践しない	0	0.0%
未回答	1	0.7%
全体	137	100.0%

⑤ 問5

「どれくらいの頻度で朝食を食べますか」については、全体の約7割が毎日朝食を食べていることから、本取組に参加している対象者は「朝食の欠食」の課題はあまり見受けられない（週に5回を含めると、全体の約8割となる）。

問5. あなたは、どのくらいの頻度で朝食を食べますか？(○は1つ)

	N	%
1. 毎日朝食を食べる	95	69.3%
2. 週に5日以上は食べる	14	10.2%
3. 週に3日以上は食べる	10	7.3%
4. ほとんど朝食を食べない	16	11.7%
未回答	2	1.5%
全体	137	100.0%

⑥ 問6

「明日の朝から朝食を食べようと思いますか」については、全体の約95%が「食べようと思う」「できるだけ食べようと思う」と回答。問5の回答と併せて見てみると、実践していない者の約25%が本取組にて「食べようと思う」「できるだけ食べようと思う」と意識を変えたことが言え、成果として非常に大きいと思われる。

問6. あなたは、明日の朝から朝食を食べようと思いますか。(〇は1つ)

	N	%
1. 食べようと思う	109	79.6%
2. できるだけ食べようと思う	23	16.8%
3. あまり食べたいとは思わない	1	0.7%
4. 食べない	1	0.7%
未回答	3	2.2%
全体	137	100.0%

⑦ 問7

「食事バランスガイドを理解できたか」については、「理解できた」「概ね理解できた」が全体の約95%と、参加者のほとんどが理解できたという結果となっており、取組内での説明が良かったと評価できるのではないだろうか。

問7. あなたは、本日のイベントで、食事バランスガイドを理解できましたか。(〇は1つ)

	N	%
1. 理解できた	80	58.4%
2. 概ね理解できた	50	36.5%
3. あまりよくわからなかった	3	2.2%
4. 理解できなかった	0	0.0%
未回答	4	2.9%
全体	137	100.0%

⑧ 問8

「野菜を摂取している頻度」については、必ず1日に1回は食べていると回答している者が全体の約60%を占めており、2～3日に1回は食べるを含めると、全体の約90%を占めることがわかる。本取組の参加者の野菜摂取に関する意識と行動は、望ましいものと思われる。

問8. あなたは、1日にどのくらい、野菜を摂取していますか？(〇は1つ)

	N	%
1. 毎食食べている	39	28.5%
2. 1日に1回は食べている	51	37.2%
3. 2-3日に1回は食べている	35	25.5%
4. 4-5日に1回は食べている	5	3.6%
5. 1週間に1回は食べている	3	2.2%
6. それ以下だが、食べている	2	1.5%
7. 食べていない	2	1.5%
未回答	0	0.0%
全体	137	100.0%

⑨ 問9

「明日から今以上に野菜を食べようと思いますか」については、全体の約97%が「食べるようにしようと思う」「できるだけ食べるようにしようと思う」と回答していることから、「野菜を摂取する頻度」結果とつなげて考えると、本取組で野菜の摂取に関する意識が上向きになったことが言えるだろう。

問9. あなたは、明日から、今以上に野菜を食べようと思いますか。(〇は1つ)

	N	%
1. 食べるようにしようと思う	80	58.4%
2. できるだけ食べるようにしようと思う	53	38.7%
3. あまり食べたいとは思わない	2	1.5%
4. 食べない	0	0.0%
未回答	2	1.5%
全体	137	100.0%

⑩ 問10

「本日のような食育イベントに、また参加したいと思いますか」については、全体の約9割が参加したいと回答していることから、本取組に対する満足度は高かったと思われる。

問10. 本日のような「食育」イベントに、また参加したいと思いますか？(〇は1つ)

	N	%
1. 参加したい	122	89.1%
2. 参加したくない	1	0.7%
3. どちらでもない	14	10.2%
未回答	0	0.0%
全体	137	100.0%

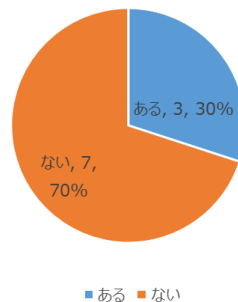
(2) 収穫体験参加者対象設問

抽選で当選した参加者を対象に事前事後のアンケートを実施。その結果を下記に記載する。

1) 問1 (事前)

参加者の約70%が今回のような収穫体験に参加したことがないといった回答になっていることから、農林漁業に多くの者を触れていただく機会になったと言えるだろう。

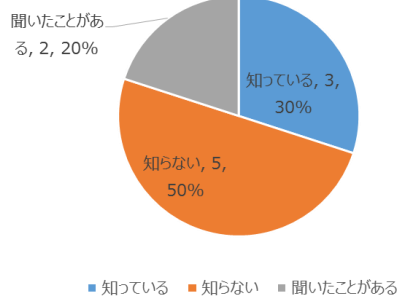
過去に、今回のような「収穫体験イベント」に参加したことはありますか。(N=10)



2) 問2 (事前)

「日本型食生活」の認知度については、「知っている」「聞いたことがある」の合計が全体の50%となっており、想定している割合より高いようであった。事後の際にはこの割合がどれだけ高まるかが期待される。

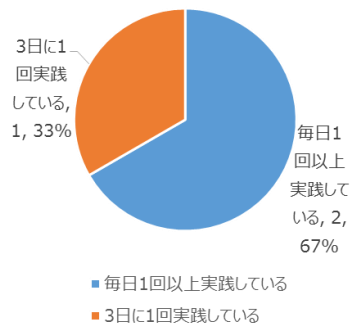
「日本型食生活」を知っていますか？(N=10)



3) 問3 (事前)

問2で「知っている」と回答した者の実践度をみると、頻度に差はあるものの、すでに全員、実践しているという結果になっている。毎日3食のうち、1回以上実践していることは、非常に望ましい食生活を送っているといえるだろう。

上記質問で“日本型食生活を「知っている」”と回答した方にお伺いします。
毎日の食生活でどのくらいの頻度で実践をされているか教えてください。



4) 問4 (事前)

野菜やキノコ類の摂取量について、全体の70%が毎日、摂取していることから、日々の食生活で野菜を意識的に考え、行動していることがわかる。ただ、週に1回摂取する割合は非常に低いにも関わらず、全体の20%も占めることから、本取組で意識と行動が変わることが期待される。

毎日の食生活で「野菜」や「キノコ類」をどのくらい摂取していますか？
ご自身の状況に近いものを選んでください。

